



碧南市の保育料は安い方から

西三河9市中第4位

碧南市は、平成20年秋に発生したリーマンショックや東日本大震災の影響を受け、税収が激減する状況にありました。これを克服するべく、24年9月に「財政再スタート宣言」を出し、他市比較の徹底を行うなかで、市民の皆様のご理解を得ながら財政構造の改善に取り組んでまいりました。その結果、平成25年度決算では、貯金を崩さず借金も増やさない状態で約2億円の黒字を達成できました。

このような流れのなかで、25年度より保育料の見直しも行いました。その結果「碧南市の保育料は西三河で一番高くなった」という話を耳にしましたが、これは大きな誤解です。碧南市の改革の本身は、実施している各事業（サービス）を西三河各市などとの比較のなかでの標準を目指すものであり、最低の水準に下げることではありません。

各市の保育料にはそれぞれ特徴があります。碧南市の特徴は第3子以降については無料、長時間保育については、親子は可能な限り少しでも

長い時間を一緒に過ごしてほしいという考えから、保育の基本時間を8時間と考え、必要に応じた時間で利用できるよう、1時間単位の率による割り増し料金をお願いしています。また、所得階層の低いご家庭には負担が大変少なく、所得階層の高いご家庭では一部、西三河9市のなかで1番高い階層もありますが、これは保護者の応能負担を適正にするという考えによるものです。

保育料が高いかどうかの判断は、一般的には、弾力徴収率という指標が使われます。弾力徴収率とは、国の定める基準保育料に対して保護者から徴収している実保育料との割合をいい、本市の26年度の弾力徴収率は52・1%（長時間保育料も含む）で、西三河9市のなかでも安い方から4番目です。ちなみに、弾力徴収率が碧南市より高い岡崎市とみよし市でも人口は増えています。

こうしたことから、保育料の高い安いよりも、結婚・出産から子育て・学校教育などの子育て支援対策やライフステージに応じた切れ目のない施策が重要と考えていますので、引き続き碧南市の特徴を活かしながら、27年度に策定した「碧南市まち・ひと・しごと創出総合戦略」を着実に進めることで、更なることも・子育て支援の充実に努めます。

今後、各情報をより正確に分かりやすく、市民の皆様に発信していきます。

青少年育成推進員のみなさん

未来を担う心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、公民館を拠点に地域に根ざした活動を進めています。

問合せ 文化会館内生涯学習課

☎(42)3511

地区				新川				中央				大浜			
氏名（敬称略）															
小嶋雅人（住吉町）				板倉博子（久沓町）				生田昌史（向陽町）				磯貝孝行（榎田町）			
馬場安司（山神町）				近藤幸恵（田尻町）				浅井智美（天王町）				磯貝和代（若松町）			
宇都幸伸（末広町）								石川まさ恵（向陽町）							
								芳野奏（塩浜町）							
								黒田真美子（錦町）							

地区				棚尾				日進				鷺塚				西端			
氏名（敬称略）																			
小澤清（川端町）				山本光子（沢渡町）				鈴木照久（平七町）				池田昇司（荒子町）				加藤博章（立山町）			
榊原勝彦（雨池町）				山名創（伏見町）				森智子（天神町）				川邊みゆき（鷺林町）				鈴木和美（坂口町）			
杉浦友美（雨池町）				田辺幸恵（三宅町）				杉浦宗（笹山町）				生田美和子（二本木町）							
												杉浦博樹（荒居町）							
												味元里美（札木町）							